

樹木を見に行こう

いろいろな種類の樹木を見るには緑地や公園に行くのが一番。家の庭や道沿いなど身近なところでも樹木を見ることができます。いろいろなところに出かけ、季節によって姿を変える樹木の観察を楽しみましょう。



樹木



大和市

はじめに

さがみのだいち ちゅうおう いち やまとし
相模野台地の中央に位置する大和市
としか すず いずみ もり
は都市化が進んでいますが、泉の森な
どのまとまった緑地がいくつも残っ
ており、さまざまな樹木を観察するこ
とができます。

樹木は大昔から、人の生活に密接に
関わってきた植物です。人は樹木から
さまざまな道具や建物をつくり、利用
してきました。わたしたちが食べてい
る果物も樹木から採れるものです。神
社などには、昔から大切にされてきた
大木があり、まちのシンボルにもなっ
ています。動物や虫たちにとっても、
食べものを得たり、隠れたりする場所
として、とても大切な存在です。

この本では、大和市内で見られる樹
木のうち、身近なものを紹介していま
す。この本を片手に外へ出て、さまざ
まな樹木を観察してみましょう。



ケヤキの紅葉 (Kt)



コナラの芽吹き (Ak)



マユミの実を食べるヒヨドリ (Kb)



- ① エゴノキの花 (H)
- ② クサギの実 (Kb)
- ③ ヤマザクラ (Kt)
- ④ クロモジの花 (Kb)

表紙の樹木

この本の見かた

① 樹木の名前

② 科の名前

科とはその樹木が含まれるグル
ープのことです。科の表記は発行時
の分類体系 (APG III) にしたがっ
ています。

③ 樹木の写真やイラスト

その樹木の特徴が表れた写真やイ
ラストです。

④ 写真やイラストの説明

カッコ内のアルファベットは撮影者などを表します (27ページ参照)。

⑤ 樹木についての説明

⑥ 名前の右のマーク マークの意味は次のとおりです。

樹木の種類

- 落広** …… 落葉広葉樹。幅の広い葉をつけ、冬には葉を落とす樹木。
- 常広** …… 常緑広葉樹。幅の広い葉をつけ、冬でも葉を落とさない樹木。
- 常針** …… 常緑針葉樹。針のような細い葉をつけ、冬でも葉を落とさない樹木。

成長した樹木の高さ

- 高** …… 10メートル以上になる。
- 中** …… 3～10メートルになる。
- 低** …… 3メートルより低い。

花が咲く時期

- 春** …… 3～5月に咲く。
 - 夏** …… 6～8月に咲く。
 - 秋** …… 9～11月に咲く。
 - 冬** …… 12～2月に咲く。
- ※樹木の高さや花が咲く時期は標準的なものです。

その他

- ♂/♀** …… 雌雄異株。オスの木とメスの木があり、別々に生えること。
- 🌰** …… ドングリとなる樹木。 ※ドングリは26ページに詳しく載っています。

用語解説

- 鋸歯** …… 葉のふちにあるギザギザ。
- 主脈** …… 葉の中央を通る太い葉脈。
- 側脈** …… 主脈から分かれた細い葉脈。



① ②
コブシ (モクレン科)

③ ④ ⑤ ⑥
コブシの実 (Kt)

春、葉が出る前に大きな白い花を咲かせ、花や枝は香る。実が(げんこつ)のようにゴツゴツしていることから名がついた。実は熟すと裂け、赤い種が糸でぶら下がる。

コブシ (モクレン科)

落広 高 春



コブシの花 (Kt)



コブシの実 (Kt)

春、葉が出る前に大きな白い花を咲かせ、花や枝は香る。実が拳(げんこつ)のようにゴツゴツしていることから名前がついた。実は熟すと裂け、赤い種が糸でぶら下がる。

クロモジ (クスノキ科)

落広 低 春 男/女



クロモジの花 (H)

黄緑色の小さな花が集まって葉の付け根に咲く。クスノキ科の樹木は葉をもんだり枝に傷がつくと、さわやかな香りがする。ヤマコウバシは春まで枯れ葉が落ちない。

クスノキ科の仲間



アブラチャンの花 (AK)



ヤマコウバシの紅葉 (H)

ヤマザクラ (バラ科) 市の木

落広 高 春



ヤマザクラの花 (H)

野生桜の代表種。ソメイヨシノより少し遅れて咲く。若葉は赤く、花が咲くのと同時に出る。実は5~6月に黒く熟す。サクラの仲間の木肌は横に筋が入ることが多い。



ヤマザクラの実 (H)



ヤマザクラの木肌 (Kt)

ウワミズザクラ (バラ科)

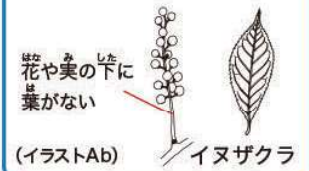
落広 高 春



ウワミズザクラの花 (Kt)

葉が出たあと、小さな白い花が集まり、長さ7cm前後のブラシのように咲く。花の下には葉が何枚かある。よく似たイヌザクラはブラシが小さく、花の下に葉がない。

イヌザクラとの違い



(イラストAb) イヌザクラ

ケヤキ (ニレ科)

落広 高 春



ケヤキの木全体 (Kt)



実ごと落ちたケヤキの枝先 (Kt)

竹ぼうきを逆さにしたような形に枝が伸び、葉が落ちる冬には木の形がよく分かる。成長した木の木肌はパズルのピースのようにはがれる。花や実をつける枝の葉は小さく、実は枝ごと落ちて風に乗り遠くへ運ばれる。

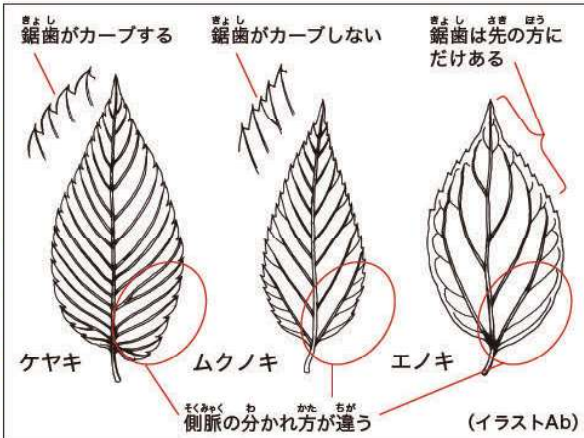
ケヤキと似ている樹木



ムクノキの実と葉 (H)



エノキの実と葉 (Ak)



ムクノキの実は1cmくらいで黒く熟して甘く、鳥がよく食べる。エノキの実は6~8mmで赤黒く熟す。

クヌギ (ブナ科)

落広 高 春

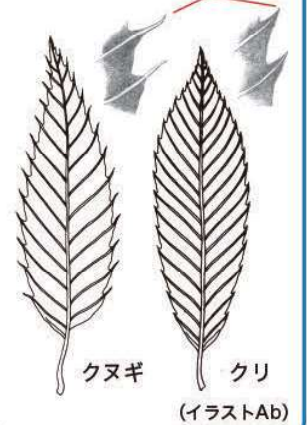


クヌギの実と葉 (Kt)

大きな丸いドングリ(実)をつける。成長が早いクヌギやコナラは昔、まきや炭、シイタケをつくるほど木にするため里山にたくさん植えられ、定期的に切られていた。

クリとの違い

鋸歯のとがり方が違う



コナラ (ブナ科)

落広 高 春



コナラの実と葉 (Kt)

細長いドングリ(実)をつける。コナラの木肌は縦に深く裂けてその間が白っぽく平らに残り、クヌギの木肌は深く裂けて全体にごつごつした感じになる。

クヌギとの違い



コナラの木肌 (Kt)



クヌギの木肌 (Kt)

ハンノキ (カバノキ科)



花が咲いているハンノキ (Kt)

湿った場所によく生える。花は葉が出る前に枝先にたれ下がって咲く。松ぼっくりに似た小さな実は秋に熟し、種を飛ばしたあともしばらく枝に残る。

落広 高 冬



ハンノキの花 (Kt)



ハンノキの実 (H)

イヌシデ (カバノキ科)



イヌシデの実 (Kt)

成長した木の木肌には縦に白い筋が入る。シデの仲間、花がしめ縄につける白い紙(四手)に似ていることから名前がついた。秋に茶色くなった実はミノシの葉に似ている。

落広 高 春



イヌシデの花 (Kt)



イヌシデの木肌 (Kt)

ヤマグワ (クワ科)



ヤマグワの実と葉 (Kt)

夏に赤から黒に熟す実は甘く、食べられる。花には花びらが無い。葉は絹糸を作るカイコのエサになる。同じ科のヒメコウソの木の皮は、和紙の原料になる。

落広 中 春 母 女



ヤマグワの花 (Ak)

クワ科の仲間



ヒメコウソの実と葉 (H)

マユミ (ニシキギ科)



マユミの実 (H)

枝がよくしなり、弓を作ったことから名前がついた。うすいピンク色の実は熟すと4つに割れ、中から赤い種が出てくる。種はメジロやコゲラなどの小鳥がよく食べる。

落広 中 春

ニシキギ科の仲間



ニシキギの実 (Kb)



ツリバナの実 (Kt)

アカメガシワ (トウダイグサ科)



若葉には赤い毛が生え、葉全体が赤く見える。葉が大きくなると自然に毛がなくなって緑色になる。葉のつけ根には蜜が出る部分(花外蜜腺)があり、アリが集まる。

落広 高 夏 雄 雌



ミツバウツギ (ミツバウツギ科)



白い花を枝先にたくさんつける。実はハートを逆にしたような形で先がとがり、袋のようにふくらんでいる。実は秋に茶色く熟し、中にできる種はつやつやしている。

落広 中 春



イイギリ (ヤナギ科)



キリに似た大きな葉でご飯を包んだことから名前(飯桐)がついた。秋に1cmくらいの赤い実をブドウの房のようにつける。種は実ごと鳥に食べられることで運ばれる。

落広 高 春 雄 雌



キブシ (キブシ科)



花の穂は枝先にたくさんたれ下がり、葉が出る前に咲く。一つひとつの花は鐘のような形で小さく、うすい黄色。雄花の穂は長く、雌花の穂は短い。

落広 中 春 雄 雌



ヌルデ (ウルシ科)



ヌルデの葉 (H)

葉の軸に翼^{よく}がある。秋に紅葉すると美しい。小さな白い花を枝先にたくさんつける。ウルシの仲間なので肌の弱い人はかぶれることがある。

落広 中 春 雌 雄



ヌルデの紅葉 (Kt)



ヌルデの花 (Kt)

サンショウ (ミカン科)



サンショウの実と葉 (Ak)

葉をもむと独特の香りがし、枝にはトゲがある。ウナギのかば焼きにかけるのは、この実の皮を粉にしたもの。同じ科のカラスサンショウは木が高くなり、葉も大きい。

落広 低 春 雌 雄

ミカン科の仲間



カラスサンショウの葉 (Kt)

イロハモミジ (ムクロジ科)



イロハモミジの紅葉 (H)

葉はふうふうと切れ込み、「いろはにほへと」と数えられたことから名前がついた。花は小さく自立しない。実には翼^{よく}があり、風に乗ってくるくる回りながら運ばれる。

※翼……葉の軸や枝、実などにつく、羽のようにはり出したもの。

落広 中 春



イロハモミジの花 (Kt)



イロハモミジの実 (Kt)

ミズキ (ミズキ科)



ミズキの花 (H)

枝先に小さな白い花を皿のようにつける。春先に枝を切ると、樹液が水のようにしたたり落ちることから名前がついた。よく似たクマノミズキは1か月くらい遅く咲く。

落広 高 春

クマノミズキとの違い

葉が交互につく



ミズキ

2枚の葉が対につく



クマノミズキ (イラストAb)

エゴノキ (エゴノキ科)

落広 高 春



エゴノキの花(Ak)

白い花を下向きにたくさん咲かせる。1cmほどの実ははじめはうす緑色だが、茶色く熟すと裂け、中から黒っぽい種が1つ出てくる。種は小鳥のヤマガラがよく食べる。



エゴノキの実(Ak)



エゴノキの種(Kt)

ムラサキシキブ (シソ科)

落広 低 夏



ムラサキシキブの実と葉(Kt)

林の縁に多い。葉のわきにつく花はうす紫色。2～3mmの小さな丸い実は濃い紫色でとても美しい。実は葉が落ちたあとに残り、メジロなどの小鳥がよく食べる。



ムラサキシキブの花(Kt)



ムラサキシキブの実(Kt)

クサギ (シソ科)

落広 中 夏



クサギの花(Kt)



クサギの実(Kb)

名前は臭い木という意味で、葉をもむと強い匂いがする。白い花はよい香りがし、アゲハチョウなどが蜜を吸いに来る。実は熟すと青黒くなり、草木染めに使われる。

ハナイカダ (ハナイカダ科)

落広 低 春 雄♀



ハナイカダの雄花(H)

葉の中央に花が咲く。葉が花を乗せたいかたのように見えることから名前がついた。雄花はいくつか集まってつくが、雌花はひとつ。実は熟すと黒くなる。



ハナイカダの雌花(Ak)



ハナイカダの実(Ak)

ガマズミ (ガマズミ科)

落広 低 春



ガマズミの実(H)



ガマズミの花(Kt)

小さな白い花がたくさん集まって咲く。秋に赤く熟す実は甘ずっぱく、食べられる。鳥もよくこの実を食べに来る。葉は葉脈が目立ち、全体に短い毛が多い。

ウグイスカグラ (スイカズラ科)

落広 低 春



ウグイスカグラの花(Ak)

春早くに葉のわきから、小さな下向きのかわいい花を1~2つ咲かせる。夏に赤く熟すやや縦長の実は1~1.5cmで甘い。葉の付け根が広がり刀のつばのようになる。



ウグイスカグラの実(H)



ウグイスカグラのつば(Ak)

ハリギリ (ウコギ科)

落広 高 夏



ハリギリの若い木(Kt)



ハリギリの黄葉(Kt)

カエデの葉に似た大きな葉をつける。枝や若い木の幹に鋭いトゲがあるが、幹のトゲは幹が太くなると次第に少なくなる。葉は秋に黄色くなる。新芽は山菜として食べられる。

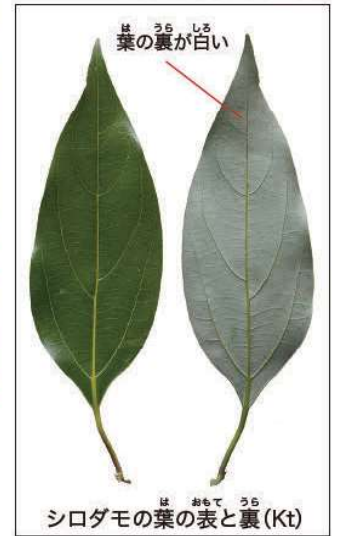
シロダモ (クスノキ科)

常広 高 秋 男 女



シロダモの花と実と葉(Kt)

秋に小さな黄色い花が葉の付け根にいくつかまとまって咲く。次の年の秋に1.5cmくらいの赤い実がなるので、花と実が同時に見られる。昔は実から油をとった。



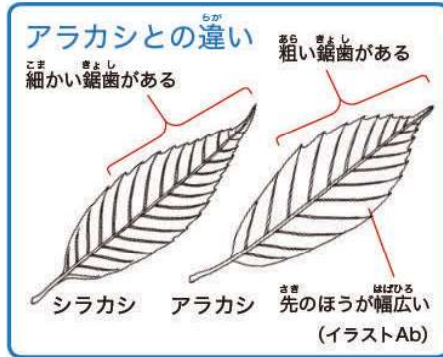
シロダモの葉の表と裏(Kt)

シラカシ (ブナ科)



シラカシの実と葉(H)

常広 高 春



大和市で見られるカシの仲間ではもっとも多い。材木にすると白っぽいのでシラカシという名前がついた。病気に強く、公園に植えられたり生け垣に使われたりする。

ヒサカキ (サカキ科)



ヒサカキの花(Kt)

常広 中 春 男 女



ヒサカキの実と葉(Kt)

葉の付け根に5mmくらいの白い花を下向きにつける。花はガスのような匂いがする。秋に熟す実は黒い。サカキの生えない東日本などの地域ではサカキの代わりに神棚に供える。

マテバシイ (ブナ科)



マテバシイの花と実と葉(Kt)

常広 高 春



うす黄色の花がブラシのように上向きに咲く。ドングリ(実)は花が咲いた次の年の秋にできる。マテバシイとスダジイのドングリは渋くなく、そのまま炒って食べられる。

アオキ (アオキ科)



アオキの実と葉(Kt)

常広 低 春 男 女



アオキの雄花(H)

アオキの雌花(H)

幹や枝が緑色で、一年中青々としていることから名前がついた。秋に1.5~2cmの赤い実をつけ、実は春まで残る。葉の裏を細い棒でなぞると黒くなるので字が書ける。

ヤツデ (ウコギ科)

常広 低 冬



葉は大きく、手のひらのように深く切れ込んでいる。茎の先につく花は数十個が集まって2~3cmのボールのような形になる。実は春に黒く熟す。別名テングノハウチワ。

アカマツ (マツ科)

常針 高 春



葉は針のように細いが、葉先を触ってもあまり痛くない(クロマツは痛い)。幹はほぼまっすぐで木肌は赤っぽい。クロマツは幹が曲がることが多く、木肌が黒っぽい。

クロマツとの違い

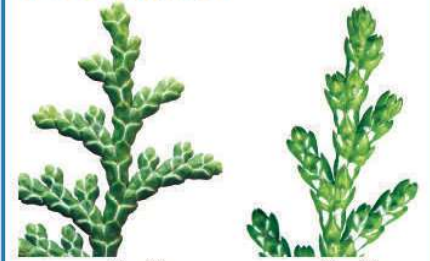


ヒノキ (ヒノキ科)

常針 高 春



サワラとの違い



ヒノキの葉の裏(Kt) サワラの葉の裏(Kt)

木はまっすぐ育ち、てっぺんは丸くなる。材木はいい香りがし、ヒノキのお風呂は有名。葉の裏にはYの字の形の白い線がある。よく似たサワラの葉の裏の白い模様はチョウの形。

スギ (ヒノキ科)

常針 高 春



葉はトゲのようで、触ると痛い。実は2cmくらいになる。家を造る材木にするため、日本で一番多く植えられた。春早くに飛ぶ花粉はヒノキとともに花粉症の原因となる。

ヒノキ科の実



こうえん き がいろ じゅ
公園の木や街路樹



ソメイヨシノ(Kt)



ハナミズキ(Kt)



メタセコイア(H)



ムクロジ(H)



ヤマボウシ(H)



ユリノキ(Kt)



イチヨウ(Kt)



トウカエテ(Kb)



ヤマモモ(Kt)



キンモクセイ(Ak)



ホルトノキ(Kt)



クログナネモチ(Kt)




カツラ(H)

まちなかにはいろいろなじゅもくがうえられてい
ます。はなや実がきれいながいにくじゅもくもあり、
私たちの目を楽しませてくれます。樹木は
四季を通して変化するので、より季節を感
じることができるでしょう。身近にある公
園の木や街路樹をときどき観察してみると、
新しい発見があるかもしれません。

コラム1 やまとし てんねん きねんぶつ
大和市の天然記念物

いずみ もり ちゅうせいち (しらかしの池) にしがわ しやめん
泉の森の調整池(しらかしの池)西側の斜面にあり「かながわの
びりん 50 選」にも入っている「大和のシラカシ林」は神奈川県指定
天然記念物です。そのほかに大和市が指定した天然記念物として①
ふかみじんじや だいかん しもだ
深見神社のハルニレ、②代官のタブノキ、③下和田のケヤキ、④福
田のケヤキがあります(②～④は私有地内)。*場所は裏表紙に出ています。



ふかみじんじや
深見神社のハルニレ

はやし なか ちい き
林の中の小さな木



コゴメウツギ(Ak)



ヤマブキ(Kt)



モミジイチゴ(Kt)



ヤブコウジ(H)



センリョウ(H)



マンリョウ(H)

林の中や縁には大木とは違う種類の小さな木がたくさん生えていて、きれいな花を咲かせたり、かわいい実をつけたりします。それらは急いで歩いていると見逃してしまうかもしれません。ゆっくり歩いて探してみませんか？

コラム2 ツタウルシに注意

林の中では樹木の幹や地面につる植物のツタウルシが見られ、触るとかぶれる人がいます。よく似た植物と間違えないようにしましょう。



ツタウルシの若葉(H)

はる ま め
春を待つ芽



アオギリ コブシ ムラサキシキブ トチノキ イロハモミジ ゴンズイ クマノミズキ ミズキ



クロモジ コクサギ アカメガシワ クサギ アジサイ ハリギリ ムクロジ



コナラ アワブキ ガマズミ クサギ アジサイ ハリギリ ムクロジ

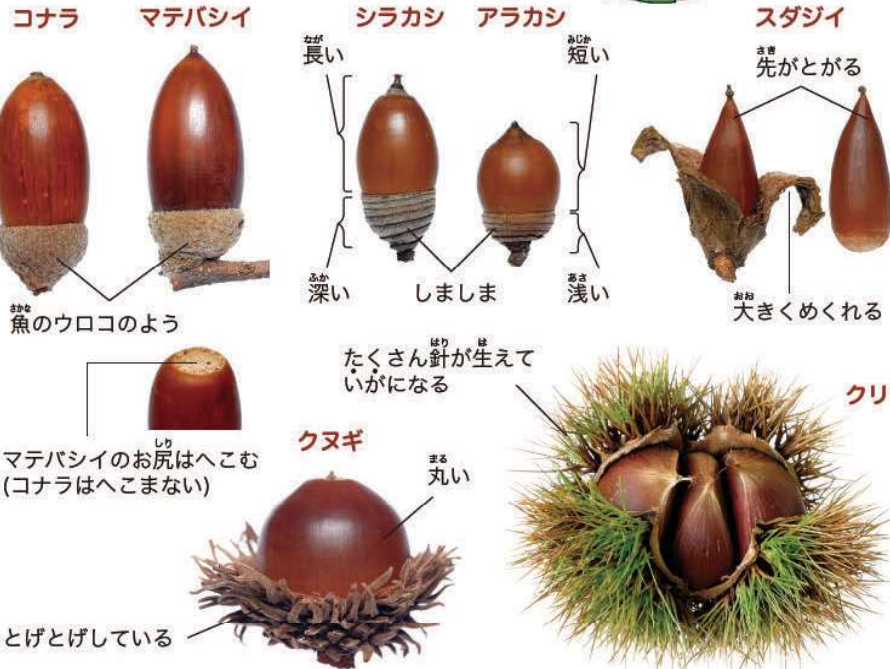
冬は活動していないように見える樹木も、春に向けて準備をしています。そのひとつが葉や花になる冬芽です。冬芽は樹木の種類によって大きさや形が違いますので観察してみましょう。また、葉が落ちた部分(葉痕)も樹木の種類によって違い、中には動物の顔のように見えるものがあり、見ていると楽しくなります。(写真はすべてKt)

やまとし み 大和市で見られるドングリ

ブナ科の樹木の実をドングリといい、形やぼうし(殻斗)の様子は種類によって違います。ドングリが落ちる秋は、林で探してみてもいいでしょうか。



ドンちゃんグリちゃん
(しらかしのいえ
ボランティア協議会
ロゴマーク)



ドングリ工作

秋にドングリを拾って工作をしてみましょう！
枝や葉も使うと、いろいろな作品ができますよ。



さくいん

ア	アオキ	19	クロガネモチ	23	ハルニレ	23	
	アオギリ	25	クロマツ	20	ハンノキ	8	
	アカマツ	20	クロモジ	4、25	ヒサカキ	19	
	アカメガシワ	10、25	ケヤキ	2、6	ヒノキ	21	
	アジサイ	25	コクサギ	25	ヒメコウゾ	9	
	アブラチャン	4	コゴメウツギ	24	ホルトノキ	23	
	アラカシ	18、26	コナラ	2、7、25、26	マテバシイ	18、26	
	アワブキ	25	コブシ	4、25	マユミ	2、9	
	イイギリ	10、25	ゴンズイ	25	マンリョウ	24	
	イチョウ	23	サ	サワラ	21	ミズキ	13、25
	イヌザクラ	5	サンショウ	13	ミツバウツギ	11	
	イヌシデ	8	シラカシ	18、26	ムクノキ	6	
	イロハモミジ	12、25	シロダモ	17	ムクロジ	23、25	
	ウグイスカグラ	16	スギ	21	ムラサキシキブ	14、25	
	ウワミズザクラ	5	スダジイ	18、26	メタセコイア	23	
	エゴノキ	14	センリョウ	24	モミジイチゴ	24	
	エノキ	6	ソメイヨシノ	22	ヤツデ	20	
カ	カツラ	22	タ	ツタウルシ	24	ヤブコウジ	24
	ガズミ	16、25	ツリバナ	9	ヤマグワ	9	
	カラスザンショウ	13	トウカエデ	23	ヤマコウバシ	4	
	キブシ	11	トチノキ	25	ヤマザクラ	5	
	キンモクセイ	22	ナ	ニシキギ	9	ヤマブキ	24
	クサギ	15、25	ヌルデ	12	ヤマボウシ	22	
	クヌギ	7、26	ハ	ハナイカダ	15	ヤマモモ	22
	クマノミズキ	13、25	ハナミズキ	22	ユリノキ	22	
	クリ	7、26	ハリギリ	17、25			

参考文献 「山溪カラー名鑑 日本の樹木」林弥栄編 1985年 山と溪谷社発行
「山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花①」茂木透ら著 2000年 山と溪谷社発行
「山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花 離弁花②」茂木透ら著 2000年 山と溪谷社発行
「山溪ハンディ図鑑5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物」茂木透ら著 2001年 山と溪谷社発行
「山溪ハンディ図鑑14 樹木の葉」林昭之著 2014年 山と溪谷社発行

2019年3月発行

禁無断複製・転載

- 発行：大和市(環境農政部みどり公園課)
〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間 1-1-1 ☎046-260-5451
- 編集：(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団
大和市自然観察センター・しらかしのいえ 石丸勇介、蔵清勝晴
〒242-0029 神奈川県大和市上草柳 1728 ☎046-264-6633
- 協力：大和市自然観察センター・しらかしのいえボランティア協議会、大和市トコロジスト
- 写真：赤松義幸(Ak)、北村治(Kt)、小林勉(Kb)、本田実(H)
- イラスト：阿部容子(Ab)
- 編集協力：阿部容子、有馬由紀子、石原和子、大浜あさら、北村治、小林勉、鈴木益美、土井節子、馬場しのぶ、堀井正明、本田実
- 印刷：株式会社連合社印刷